

平成 30 年度 学校評価の重点事項及び努力事項とその具体的取り組み

兵庫県立小野高等学校

重点事項：学力の向上による進路保障		主担当	スケジュール
(年度努力事項) 授業力の向上		学年 進路指導 教務	随時 各種模擬試験 9月課題実力テスト 随時実施
(目指す姿) 教員が自らの授業力を向上させるために日々研鑽に努め、生徒が満足できる授業の展開と生徒の学力面に対する好影響を図る。	(現状) 教員が公開授業や研究授業等を通じて研修を深め、授業改善に工夫することによって授業力向上に努めている。		
(年度努力事項) すべての生徒の学力の向上		教務 教務 学年 進路指導 商国	4月実施(教務) 1、2学期 朝、放課後、土曜日、長期休業中 通年
(目指す姿) 生徒が日々の授業に高い知的好奇心を喚起され、主体的に参加して学ぶことの楽しさを体感し、自らの潜在的な力を向上させる。	(現状) 朝の学習や補習、資格検定受検等を通じて、すべての生徒の学力向上に努めている。		
(年度努力事項) 進路実績の向上		第1学年 第2学年 第3学年 進路指導 学年	1年通年 2年通年 3年通年 随時 入試対策 大学入試動向分析
(目指す姿) 第一志望届により、早期に目標設定をさせるとい指導を通じて、質の高い学習を継続させ、進学校として着実な実績を残す。	(現状) 第一志望届により生徒の進路意識を高め、主任面談と担任面談を通して、進路実現に向けて意欲を高めるよう指導している。		

重点事項：豊かな人間性を持った生徒の育成		主担当	スケジュール
(年度努力事項) 規律ある態度の育成			
(目指す姿) 自己を律する精神を涵養し、個人と集団との関係を踏まえ、相互に個性を尊重できる生徒を育成する。	(現状) 生活3原則を徹底することで生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている。	(具体的取り組み) 1 生活3原則の徹底。特に、登校時の生徒の様子を把握し、心のこもった挨拶ができるように働きかける。 2 部活動の活性化を推進しながらも、効率的な練習計画によって学習との両立を図る。 3 体育大会・コーラス大会などの学校行事を通して、学校・学年やクラスへの帰属意識を高めるとともに、リーダーを育成する。	生徒指導 学年 生徒指導 学年 行事毎
(年度努力事項) ボランティア体験の実施			
(目指す姿) 奉仕活動に積極的に従事することで、体験学習の大切さや喜びを学ぶ。そして、地域との連携を深め、信頼の置かれる生徒を育成する。	(現状) 学校周辺の奉仕活動や「高校生ふるさと貢献活動」に参加することで、生徒に体験学習の大切さを学ばせている。	(具体的取り組み) 1 生徒会行事に積極的に参加し、学校周辺の清掃活動を実施することで、奉仕精神を高める。 2 寺子屋交流事業や老人福祉施設との交流、小学校や中学校との実験観察教室などの「高校生ふるさと貢献活動」に積極的に取り組むことを通じて、地域との連携を深める。	生徒指導 総務 6月と12月にクリーンキャンペーン実施 随時実施
(年度努力事項) 人権教育の充実			
(目指す姿) ・人間尊重の精神を涵養し、日常生活において人権を尊ぶ態度を育てる。自らを見つめ、よりよい生き方を追求できる人間を育成する。 ・生徒と教職員が一体となり、理想の人間像を追求し、生きる力と学ぶ力を身に付ける	(現状) 「生き方HR」について、学年ごとの3班構成で事前研修の場を持ち、学校全体で取り組む体制を作っている。 学校いじめ防止基本方針をもとにいじめ対応チームを構成し、アンケートの実施や職員研修を行う	(具体的取り組み) 1 職員の人権意識を高めるとともに、各学年の「生き方ホームルーム」を充実させる。 2 海外の人々との交流を通して、文化や価値観の多様性を認識させるとともに、日本の文化を生徒自身の言葉で紹介できるようにする。 3 生徒・保護者への教育相談の充実とともに、教職員には、カウンセリングマインド研修会を実施し共通理解を図る。 4 生徒に対し年3回、「いじめに関するアンケート」を実施する。 5 いじめに対する職員研修を行い、全ての生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、学校いじめ基本方針の徹底と教員の共通認識を図り、チームとして問題に立ち向かう体制を整える。	人権教育 国際理解 保健 生徒指導 ホームルーム計画に基づく ・ブレイトワッド訪問による国際交流 ・各種の国際交流 ・テレビ会議 ・教育相談 (年間23回実施) ・職員対象の研修会 (「カウンセリングマインド」を年2回実施予定)

重点事項：地域に信頼される学校づくり		主担当	スケジュール	
<p>(年度努力事項) 情報発信の手段と内容の充実</p>		<p>(具体的取り組み)</p> <p>1 本校ホームページ(公式ウェブサイト)及び学校案内パンフレットをより価値あるものにするとともに、学校公開や学校評価の内容を充実させる。</p> <p>2 第3学区内における本校の特色について、中学校訪問や各種の進学説明会などを通じて強くアピールする。</p> <p>3 オープンハイスクールや探究発表会などにおいて、探究活動の取り組みに関する発表や掲示物の展示を行い、保護者や近隣の中学生などに活動の成果を情報発信する。</p> <p>また、探究活動の内容を外部の発表会や学会へ積極的に参加し発信させる。</p>	<p>情報図書 総務 学校評価</p> <p>科学総合</p>	<p>随時更新 随時実施</p> <p>3月下旬に探究発表会実施(次年度に「探究論文集」刊行)</p>
<p>(目指す姿) ホームページ(公式ウェブサイト)、学校公開等で最新の情報を発信し、保護者・地域住民等に情報を提供し、理解と参画を得て連携協力を進める。</p>	<p>(現状) ホームページを充実させながら、保護者や地域に対して学校の情報を的確に発信している。</p>			
<p>(年度努力事項) 教職員の意識の高揚</p>		<p>(具体的取り組み)</p> <p>1 生徒・保護者・教員に対する学校評価アンケートを実施して自己点検を行い、日々の教育活動を活性化させる。</p> <p>2 学期ごとに「生き方ホームルーム」の事前研修会を実施し、効果的な授業方法の検討と人権意識の向上を図る。</p> <p>3 学年内の教員はもとより、教科担当者や部活動顧問を含めた職員間の連絡を密にして、生徒理解に努める。</p>	<p>学校評価</p> <p>人権教育</p> <p>学年</p>	<p>11月に実施</p> <p>各学期に1回実施</p> <p>随時</p>
<p>(目指す姿) 学校評価制度が今後の小野高校をよりよい方向へと進ませる指針となるべく、教育活動の活性化につなげる。</p>	<p>(現状) 学校公開の来校者アンケートや学校評価アンケートにより、課題を明確にして、教職員が各部署で改善に努めている。</p>			
<p>(年度努力事項) 地域との連携</p>		<p>(具体的取り組み)</p> <p>1 商業科・国際経済科全員と普通科希望者を対象にインターンシップを実施し、地域社会との連携を図り、生徒の社会貢献に対する意欲と責任感を醸成する。</p> <p>2 地元企業と連携した課題実践や専門科目の授業を利用した商品開発、地域の課題解決の調査研究活動を実施する。</p> <p>3 総合的な学習の時間「探究」において、京都大学、神戸大学、兵庫教育大学や兵庫県立大学などとの高大連携により研究内容の充実を図る。</p>	<p>インターンシップ</p> <p>商国</p> <p>科学総合</p>	<p>5月下旬～11月上旬(実習は8月中)年度末に報告書の作成</p> <p>通年(商国)年度末に論文作成と報告会の開催</p> <p>通年</p>
<p>(目指す姿) 学校・家庭・地域が三位一体となり、お互いが連携することによって、質の高い組織体となり、開かれた学校づくりに邁進する。</p>	<p>(現状) インターンシップや販売実習、インスパイア・ハイスクール事業を通して地域との連携を深め、開かれた学校づくりに努めている。</p>			